

2007年6月期

中間決算説明会

株式会社アイ・オー・データ機器
2007年3月5日

2006年12月中間(P/L) < 連結 >

(単位:百万円)

	2005年12月 前期中間	2006年6月 前期期末	2006年12月 今期中間	前年同期 比較
売上高	34,772	70,087	29,771	5,001
売上総利益	2,697	6,889	3,190	+493
販売費及び一般管理費	3,672	7,218	3,594	78
営業利益(損失)	975	328	403	+572
営業外収益	207	276	215	+8
営業外費用	126	284	177	+51
経常利益(損失)	893	336	365	+528
特別利益	0	5	156	+156
特別損失	3	30	250	+247
当期純利益(損失)	1,016	549	988	+28

2006年12月中間(B/S) < 連結 >

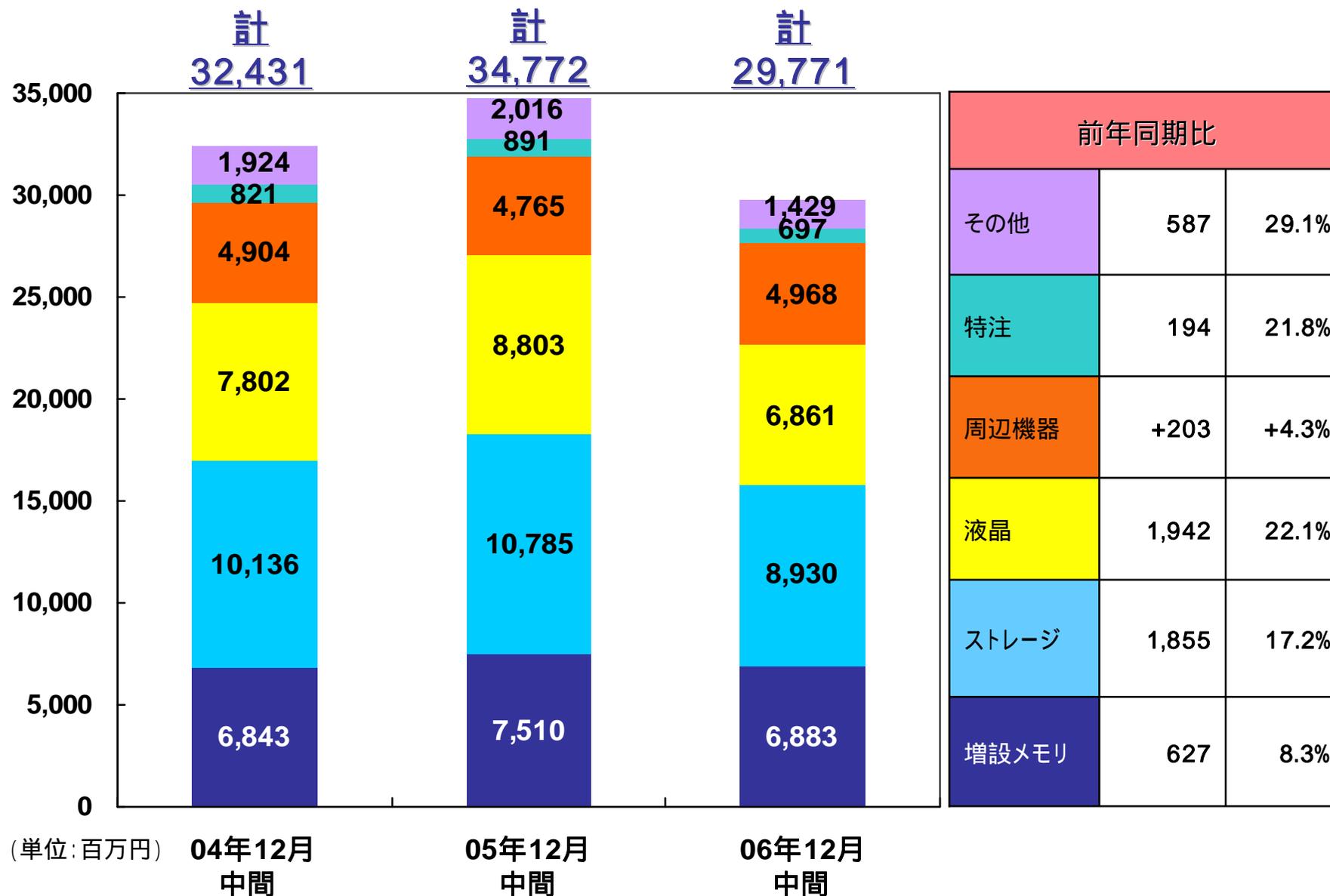
(単位:百万円)

	2005年12月期 前期中間	2006年6月期 前期期末	2006年12月期 今期中間	前年同期 比較
(資産の部)				
流動資産	30,201	26,211	32,076	+1,875
現金及び預金	3,433	3,913	4,477	+1,044
受取手形及び売掛金	15,453	14,643	14,855	598
たな卸資産	8,754	6,431	9,723	+969
その他の流動資産	2,559	1,223	3,019	+460
固定資産	7,824	7,910	6,658	1,166
資産合計	38,025	34,121	38,735	+710
(負債の部)				
流動負債	17,698	12,792	17,795	+97
支払手形及び買掛金	13,946	8,372	12,807	1,139
短期借入金	213	3,000	3,000	+2,787
未払法人税等	79	139	91	+12
その他の流動負債	3,458	1,281	1,895	1,563
固定負債	655	679	796	+141
負債合計	18,354	13,472	18,592	+238
少数株主持分	240	-	-	240
(資本の部)				
資本合計()	19,431	-	-	19,431
(純資産の部)				
株主資本合計	-	19,769	18,633	+18,633
評価・換算差額等合計	-	641	1,263	+1,263
少数株主持分	-	238	246	+246
純資産合計()	-	20,649	20,143	+20,143
負債純資産合計	38,025	34,121	38,735	+710

会計基準の変更に伴い、従来の「資本の部」は「純資産の部」となり、一部表示を変更しております。

部門別の概況

部門別売上高(連結)



増設メモリボード部門

メモリ ⇒ 拡販が進み、
数量・売上ともに前期比増加するも
DRAM価格の上昇により、利益を圧迫。

メモリカード ⇒ 原材料価格・販売価格ともに
大幅に低下するも、好調な携帯電話向け
需要を背景に売上拡大。

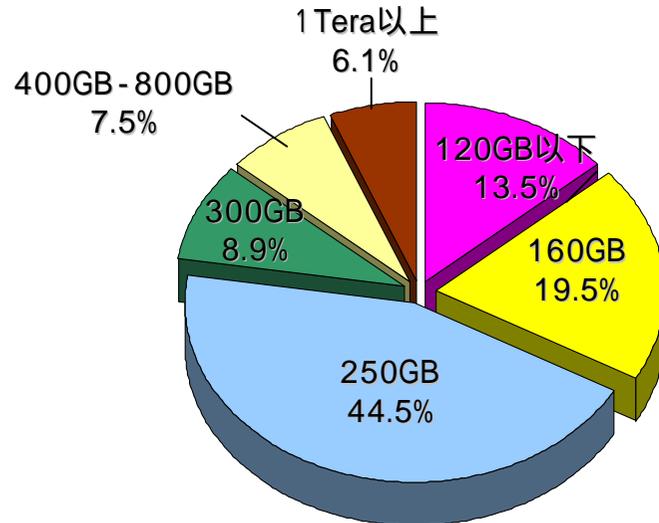
USBメモリ ⇒ 競争の激化により、
販売価格・数量ともに前期より大幅に減少。
年末より高速製品を投入し、下期巻き返しを図る。

ストレージ部門

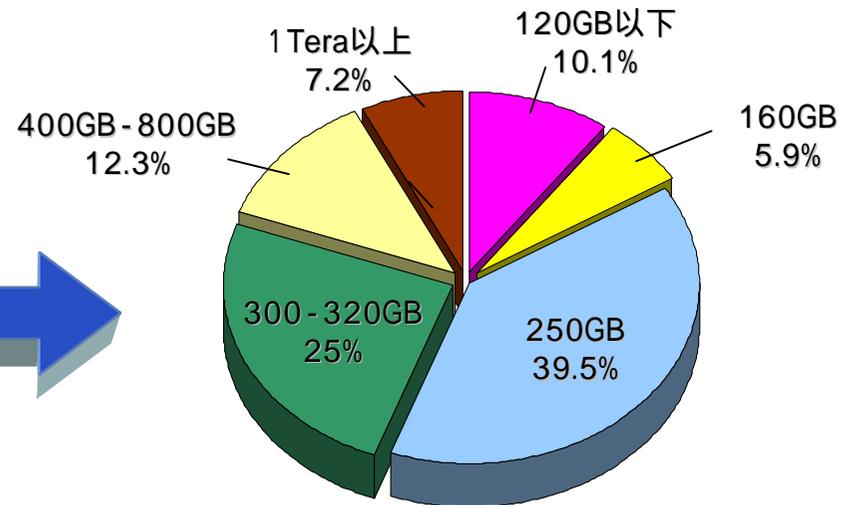
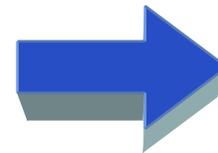
HDD製品

⇒ デジタルコンテンツの普及と容量の拡大により販売数量は増加するも、前期より続く低価格競争の影響を受け、売上は減少。

< 3.5インチHDD製品 容量別売上高シェア >



05年12月期



06年12月期

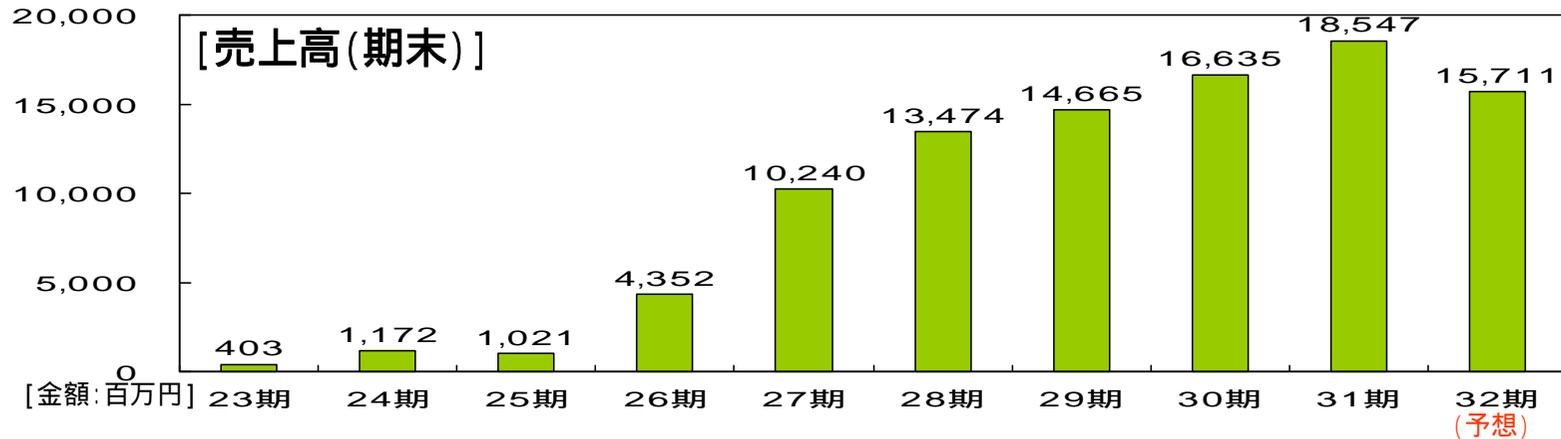
DVD製品 MO・CD-R/RW製品

⇒ DVD・MOはトップシェアを維持するもマーケットの縮小により、数量・売上ともに前期より減少。

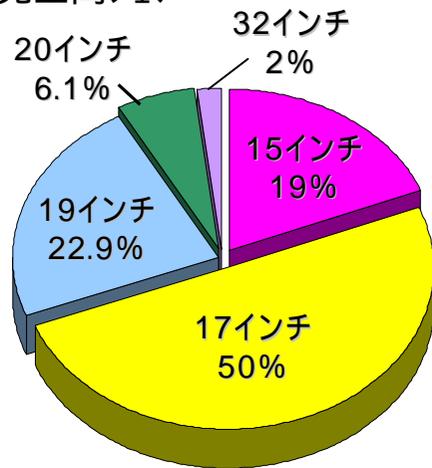
液晶部門

液晶ディスプレイ

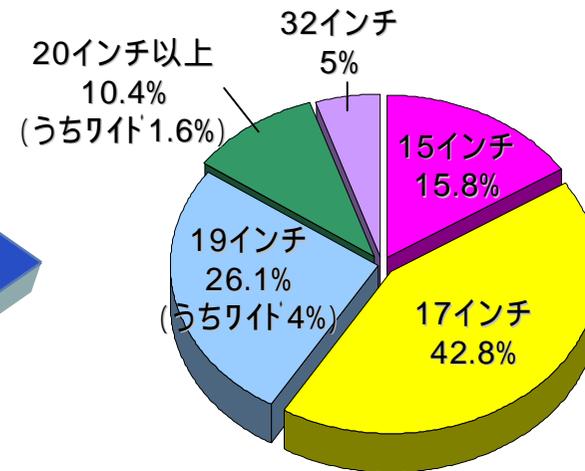
収益性の高い、19インチ超の大型モニターやワイドフォーマットへのシフトを先行して進めるものの、PC需要の不調の下、モニター増設需要は鈍化。また、製造委託先に起因する製品の不具合対応も重なり販売機会を逸し、数量・売上ともに前期から減少。



<サイズ別売上高シェア>



05年12月期



06年12月期

周辺機器部門

マルチメディア ⇒ トップシェアを維持するものの、ワンセグ製品の投入の遅れとアナログキャプチャ市場の縮小により、数量・売上ともに減少。

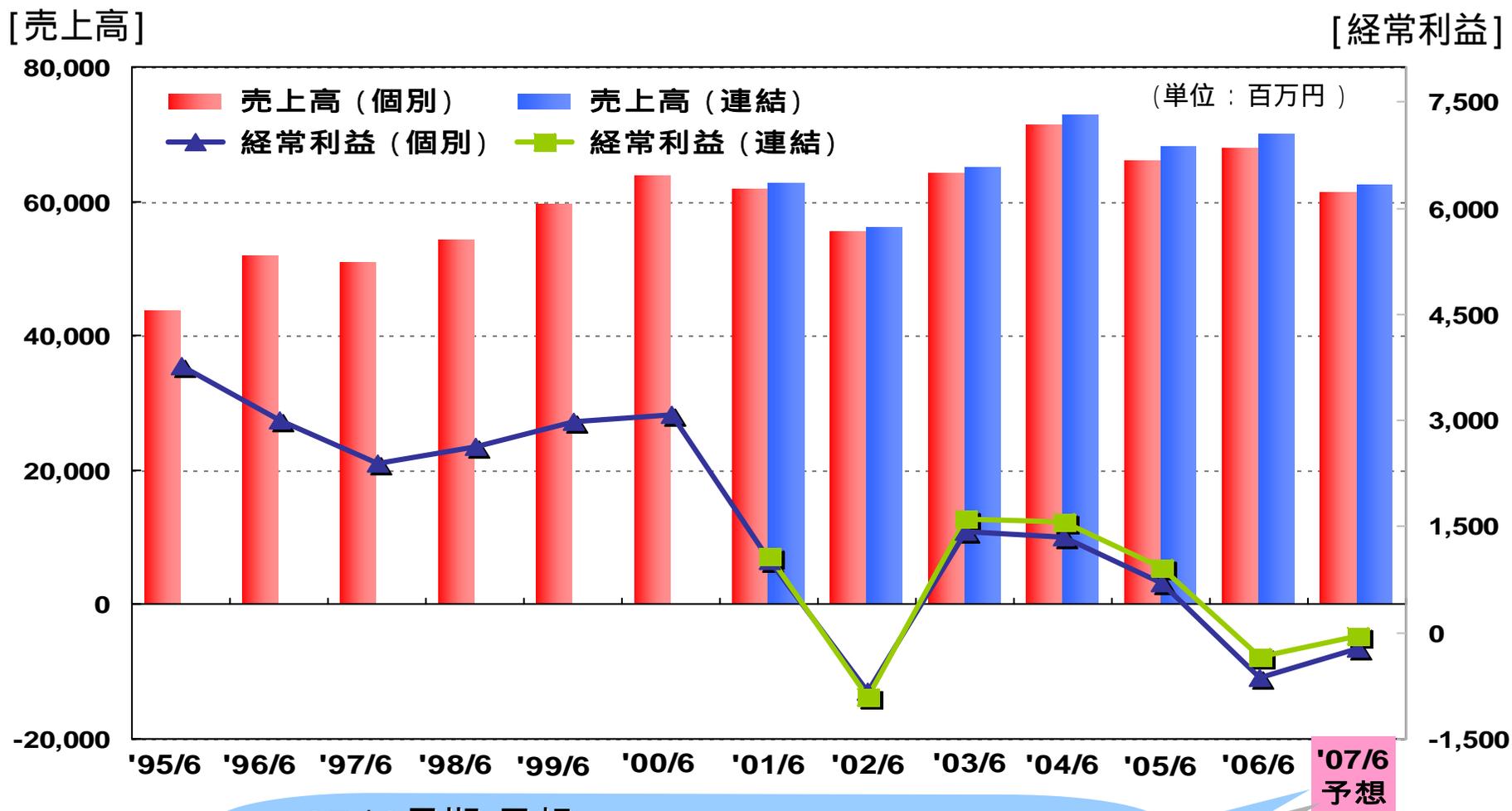
ネットワーク・通信 ⇒ LAN接続HDD製品のラインナップ拡充と、PLC製品投入により伸張。

AVeL製品 ⇒ 前期末より順次製品モデルチェンジが進み数量・売上ともに伸張。

インターフェイス ⇒ 販売単価は横ばいながらも、需要の減少により数量・売上ともに減少。

通期の業績見通し

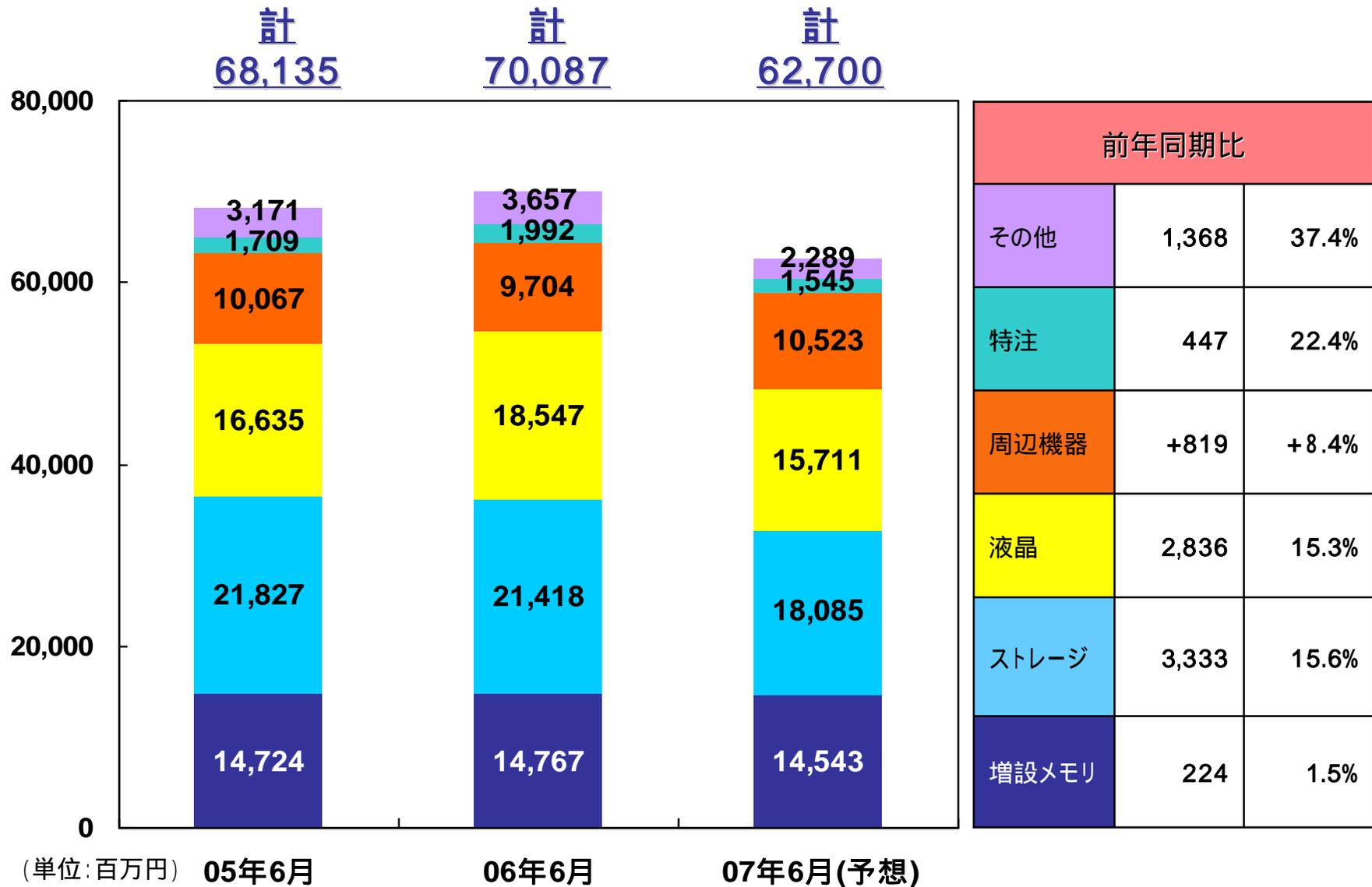
業績推移および見通し



07/6月期 予想

	[連結]	[個別]
売上高	62,700百万円	61,400百万円
経常利益	40百万円	223百万円

部門別売上高 予想(連結)



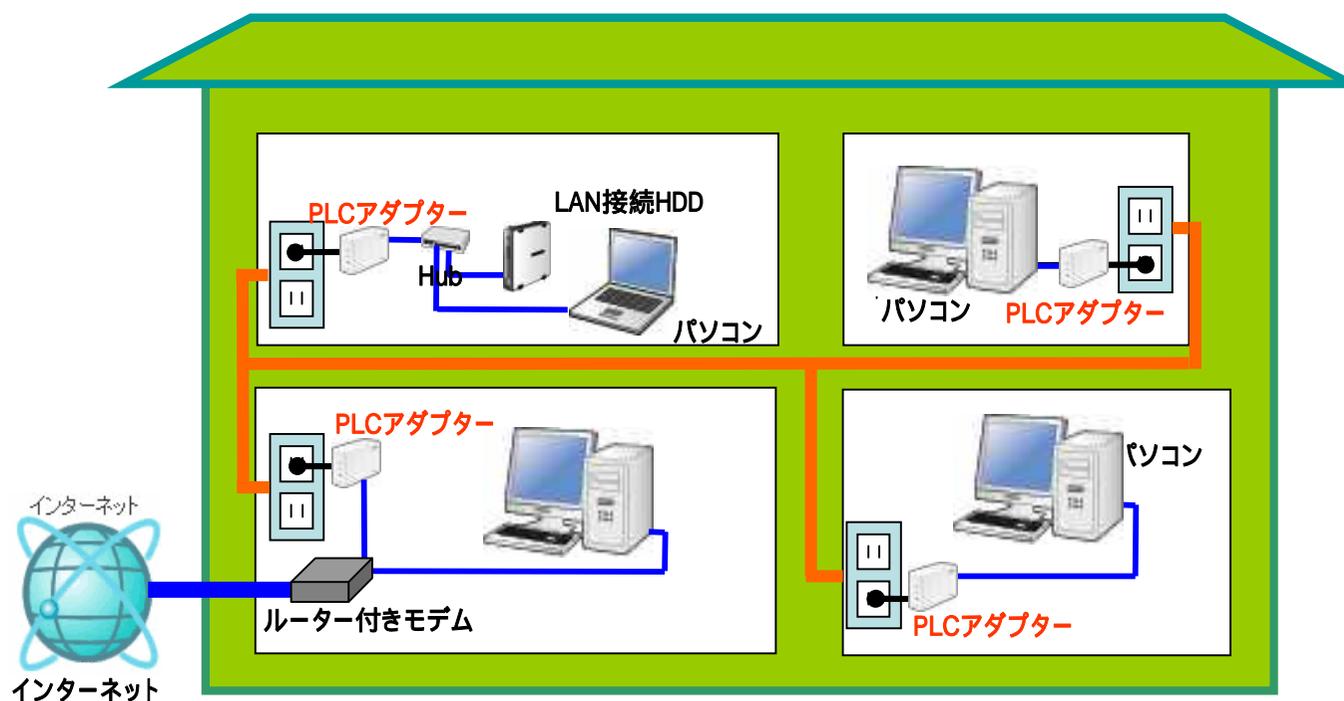
32期('07.6月期)下期の展開

【弊社が狙う3つの市場】

1. 新規格分野・・・「PLC」「ワンセグ/フルセグチューナー」
2. コンシューマ向け製品開発で培ったノウハウ・技術の応用分野
3. “ハードウェア+ ”によるソリューションツール提案

1. 「PLC」 ～ 電力線を利用した新しいネットワーク通信～

コンセントに挿すだけで簡単にネットワークを構築

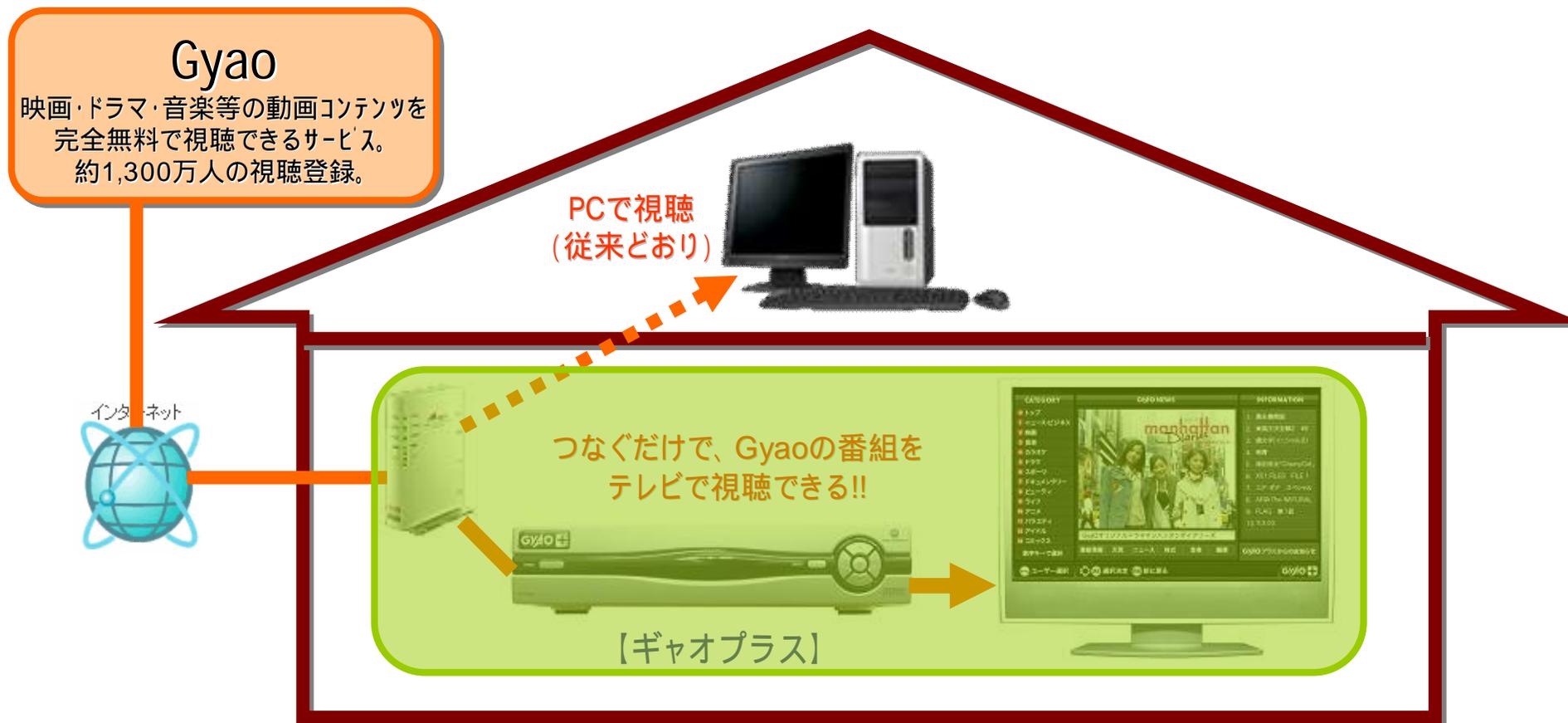


◆ 電力線を利用した通信であるため、今後、さまざまな家電製品への組込が加速してゆくことが予想される。

早期に参入したメリットを活かし、拡大する需要を捉えて参ります。

2. 「Gyao+」 ～“ブロードバンド放送”を“リビングのTV”へつなぐ～

“ブロードバンド放送”も、地上波/BS/CS放送と同じようにテレビで楽しめる。



LinkPlayerのノウハウ・技術を“ギャオプラス”の開発に応用
コンシューマー市場で培った技術を、OEM・法人様向けに応用して参ります。

3- . 「ブート可能外付HDD」 ~ “ダブルOS環境”を実現

起動可能な状態のOS環境を残すことで、二つのOS環境を必要に応じて使い分け可能に!

具体例:

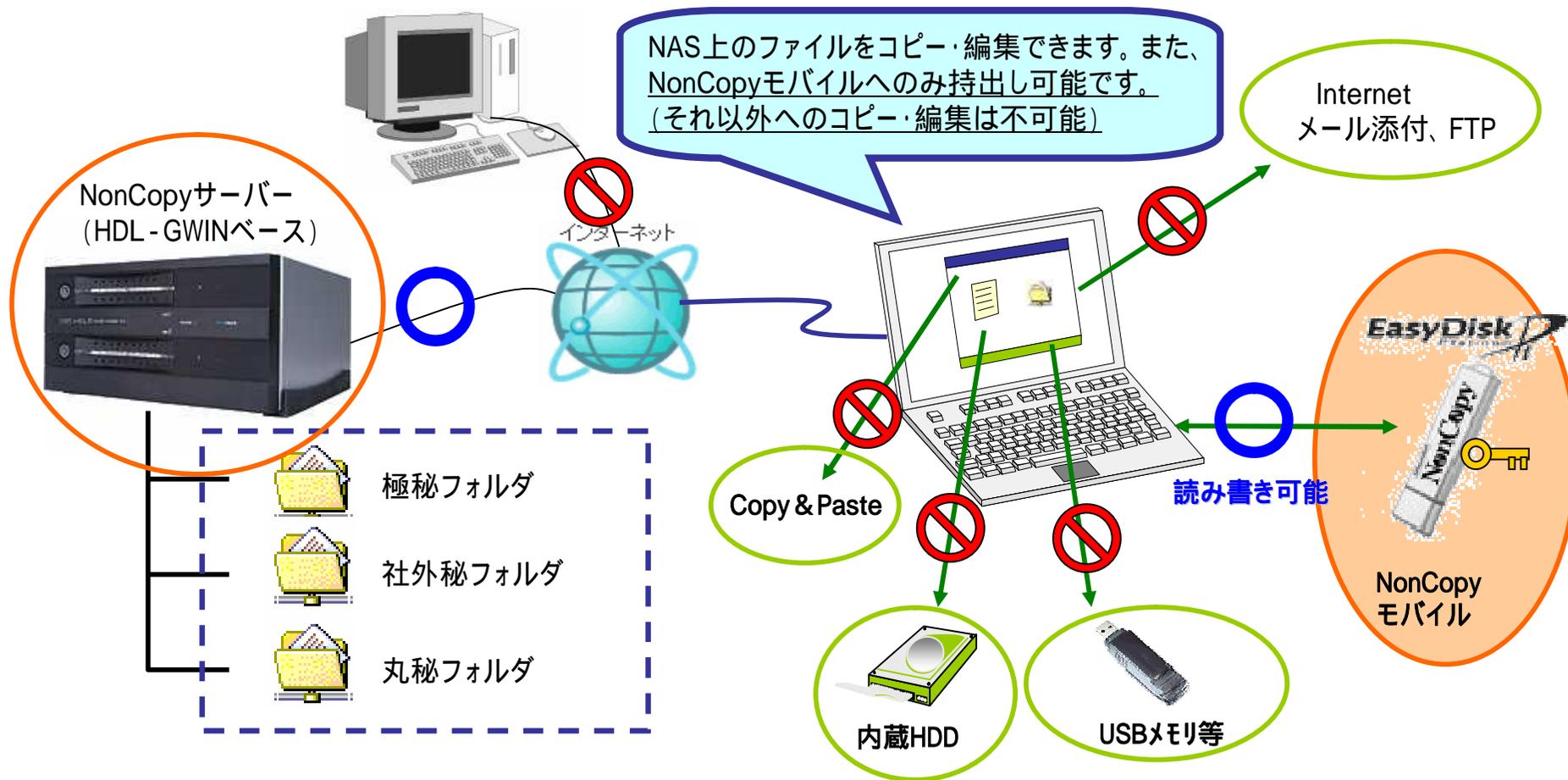


ブートコードを読み込むための、起動可能なFDDもしくはCD-ROMドライブが必要となります。

HDDを単なる記憶装置として提供するのではなく、具体的な利用シーンに最適な“ソリューションツール”化し、提案して参ります。

3- 「NonCopyサーバ」 ~ “NAS + = セキュリティシステム”

普通のPCが”NonCopyサーバ”に接続するだけで”シンクライアントPC”として機能！





ご清聴ありがとうございました

<http://www.iodata.jp>